

亀井副議長の不誠実対応が酷かった！ 門真市消防議員への「8/30説明会」の概要記録

・消防幹部3人も同席しノートを取り、音声テープも渡したのに「発言記録作ってません」とは??

作成：門真市消防議員：戸田ひさよし

8/30(木)朝 10 時からの、「消防議会亀井副議長」からの「門真市選出消防議員への説明会」は亀井副議長のとんでもない居直り・詭弁すり替えによって大紛糾し、12：18 までかかって実質決裂で終了した。

亀井副議長の詭弁は、7/13 戸田事務所での

- ・戸田に事実経過を問われても説明せず、
- ・「議員みんなが問題にしている」というウソ説明、
- ・6 回も執拗に繰り返したへの戸田発言への異様な妨害行為
- ・7/15 説明要求書への無回答とういう不誠実な職責放棄

を全て居直り、逆に「戸田の亀井への暴言暴行事件だ！それを謝罪せよ！」とありとあらゆる詭弁を弄（ろう）するものだった。

戸田が怒り心頭になったのはもちろん、温厚な土山議員も激怒し、公明党 2 議員も呆れ、共産党井上議員が困惑するものだった。

※以下の記述は、ノートの超走り書きメモと戸田の記憶を基に作成した。従って、個々の発言については抜けている所や発言通りではない所も多々あるが、話の流れとしては正確だと考える。

※ 当日は消防幹部が 3 人同席してノートを取り、「消防当局が録音テープを文字起こしする」となったはずだが、本日確認すると「発言記録は作ってない。録音テープは預かっただけで文字起こしはしていない」との答え（益井参事）で、不可思議に思う。

なお、テープ片面 45 分が終わっている事に気づかず 30 分かそれ以上放置してしまっただけで録音できなかった部分がある。

~~~~~

## < 8/30 説明会の流れ：超走り書きメモ >

### 【出席者】

- ・亀井副議長（共産党）
- ・消防議員：戸田、  
土山重樹（自民党新政クラブ）、  
武田朋久（公明党）  
高橋嘉子（公明党）  
吉水丈晴（緑風クラブ）  
井上まり子（共産党）
- ・消防職員：児玉次長、久野総務課長、益井総務課参事

1：亀井議員が「土山議員から申し入れがあった、戸田議員HPでの消防議会音声アップの件について話し合いを持つ」、「武田議員より事実経過分かる資料が欲しいとの要望があった。それで消防当局に7/13 戸田事務所でのやりとりの記録を作ってもらったので配布する」と切り出した。

2：これ自体、既に「亀井議員が他の議員をダシに使うウソ説明したことの釈明」という、土山議員を通じた「消防議員への説明会」の趣旨をすり替えている。

そして亀井副議長が消防当局に作らせた「7/13 戸田事務所でのやりとりメモ」（文書タイトルは「戸田議員ホームページ申し入れ」）が、既に亀井の戸田への執拗異様な説明妨害行為に全く触れない歪曲記録だった！

3：戸田が持参した小型録音機を机の上において、「後で水掛け論にならぬよう、録音を取りたい」、「HPでのアップはせずに純粋に記録用に使う。何なら土山議員などに預けてもよい」、と提起した。

## 門真市消防議員への「8/30説明会」の概要記録（2）

4：亀井議員は「みんなの意見に従う」と言ったが、吉水議員がなぜか嫌悪感むき出しにして「何やそれ。そんなことなら話が違ふ。そんな話ならワシは帰る。録音取るべきでない」と強硬に反対。

土山議員は「録音しても構わない」、

井上議員は「信頼関係無いのはおかしい。録音には違和感あるが、どちらでもいい」

武田議員は「この会議の性質による」

戸田が「それでは消防当局預けではどうか」と再提起し、結論としては「録音テープは消防当局が預かる」事を条件に、録音 OK となった。

5：亀井議員は自分の「戸田説明への執拗異様な妨害行為」には全く口を拭って、もっともらし顔を作りながら、「第1の議題は、戸田が自分に対して『お前！』とか『コラ、亀井議員！』とか議員にあるまじき暴言を吐いたので、まずそれを謝罪してもらおう事だ」ウンヌンと詭弁を弄した。

これに対して戸田が、亀井議員の執拗異様な発言妨害の実態を述べ、それこそが非礼な行為であって、亀井議員が戸田に謝罪すべき事だと批判した。

また、副議長によるウソ説明・説明要求の無視などの事件の本質を説明した。

しかし亀井議員はあくまでシラを切って、戸田の怒りの糾弾発言を「正副議長が申し入れた場での言動は議会内での言動と同等で、暴言は懲罰にも値する行為だ」と無理矢理のコジツケをしながら居直った。

10：18

6：吉水議員は完全に亀井議員の味方になって発言。

「議会の同意無しに録音アップした戸田の行為が問題だ。議長団として独自に判断して行動するのは、他の議員がどうで言おうが言うまいが構わない。ワシは容認する」

「議会の秩序を守るべき」

10：21

7：土山：「亀井議員副議長が『みんなが言っている』と言ったのが問題」

「私はそういう（HPアップが悪いという）意見は持っていない」

「その疑問があるから、今日の話し合いがある。そこを明確に説明して欲しい」

8：吉水：「誰も言っていないくとも議長団が判断したのなら、それでいい」

土山議員：あれこれ

9：亀井：「『みんな』とは言ったが『全員』とは言ってない」(!?)

「他に人にも聞いてます！」、「このメモ（消防当局作成）にも書いてある！」

「戸田議員の無礼な発言の問題をまず片づけたい」(!!)

10：戸田：「一方的なコジツケ言いがかりだ！」と抗議

11：井上：「7/13に18分間（の話し合い）でこんなに憤激するのはちょっとおかしいと思う。」

12：武田：「戸田議員の情報公開も大事。しかし議会のルールもある。議会内の発言を公開するには一定の手続きも必要」

「戸田事務所に行く前に全議員に意見聴取したのか？全議員の了解無しに行なった可能性がある」

13：戸田：7/13の事をこれ以上言い合っても水掛け論になるだけ。本質論へ

14：武田：法律論あれこれ。規定が無ければ何してもいいのか。

戸田：「禁止されていない事はやってもよい、というのが法律の基本だが、そういう理屈だけでなく、議会の内容を市民に公開する公益の方が議会内の同意の有無よりもはるかに重い公益だ」

10：41

15：吉水：「戸田議員の『消防議会で録音やHPアップを求めたらペケになるから独断やった』の論はおかしい」

16：戸田：「『議会の合意形成』を強調するくせに、戸田への削除要求に関しては『合意形成』しようともせずに行なうのはダブルスタンダードじゃないか」

17：吉水：「録音・アップの合意形成を取るべき。今までみんなで協議して議会改革を進めて来ているじゃないか」

戸田：「1999年以来今まで、戸田が対等平等に話し合いに参加した事は1度も無い！

この会合が初めての事じゃないか。」

## 門真市消防議員への「8/30説明会」の概要記録（3）

- 18：亀井：「戸田は懲罰取り消し裁判で札幌高裁判決の『議会においては多少の非礼な発言は許される』事を引用しているが、これを拡大解釈して暴言を正当化してる」  
↑↑亀井の驚くべきすり替え！この男はこんな屁理屈を考えていたのか！  
戸田：話のすり替えに抗議  
亀井：すり替え話の繰り返し
- 19：土山：亀井議員は何を言いたいのか？何を伝えたいの？ 10：51
- 20：亀井：「次に刑法 208 条の問題ですが」・・・一同「ハア？」  
亀井：得意げに「戸田さん知ませんか？刑法 208 条『暴行罪』ですよ」  
「刑法 208 条：暴行を加えた者が人を傷害するに至らなかったときは、2 年以下の懲役若しくは 30 万円以下の罰金又は拘留若しくは科料に処する。」  
「戸田議員は私につかみかかろうとした。これは暴行罪になる。」(!)  
「体に触れなくても暴行罪が成立する例」などの法解説も列挙。(アホか!)  
「警察に告訴するつもりはないが暴行罪は明らか」。
- 21：戸田、余りの話のすり替えに怒る！  
亀井：「言論の府では、どんな事があっても『暴力』はダメですよ、  
「暴力を振るってもいいいと認めるんですか？」、と執拗に繰り返す。
- 22：高橋（公明党）：正副議長としての行動は、我々の合意というものを考えてもらわないと・・・  
亀井：あれこれ 10：55
- 23：土山：「(暴行罪ウンヌンは) それでどうせいというのか？ 次の話に行こ」  
亀井：「消防議会の中で戸田に謝罪して欲しい」(!)  
もったいぶって、戸田のピラの中の文章を読み上げる。  
「戸田のピラにも『罵声を浴びせる事も暴行に該当する』と書いているんですよ、と何ヶ所か読み上げて偉そうな顔をする。
- 24：戸田：「それは一体何のピラだ？」・・・戸田のザイトク会批判のピラだった！  
(ザイトクの差別暴力を一度たりとも批判した事のない亀井が、戸田をザイトク同じであるかのようにデッチ上げて非難するとは！ バカもたいがいにしろ!)
- 25：土山・高橋：「それがどうなの？」  
亀井：刑法の条文を読み上げ (!)  
亀井以外のみな：「次行こう」 11：03
- 26：亀井：「ではみなさんは戸田が暴力行為を行なった事を認めてくれましたね」(!)  
土山：「そんな事じゃない」、  
戸田：「馬鹿な事を言うな」
- 27：亀井：「では次に行きます。経過を言います。」  
「私は 7/12 は東部大阪治水の視察に行っていた。そこに消防から電話があって、  
『7/11 に消防議会の音声が戸田HPにアップされている事が確認されたので、7/12 に池嶋議長に報告され、議会で確認もされていない事を出すのは困る、となった。』  
と聞いた。私もそう思った」  
「私から 7/13 朝に井上議員に聞いた。  
『私の上承もなくアップされるのは困る』との事だった。  
7/12 に視察で一緒だった吉水議員に聞いたら、『それはまずいな』という事だった。  
他の議員には聞かなかった (!)」  
「守口の議員もほとんどアップはあかん、という意向だった」(←ウソ!)  
「私は『全員』とは言っていない」  
「それを受けて削除申し入れに行った。みんなの合意形成が無い事はダメ」

## 門真市消防議員への「8/30説明会」の概要記録（4）

- 28：土山：「亀井議員と7/30に話した時に、『2人以上いたらみんなや。それが常識や』と言った。呆れた」  
亀井：「揚げ足取りはやめてくれ」（！）
- 29：土山：「揚げ足取りじゃない。何で我々の合意を取らなかったのか？私の合意を取ったのか？！」  
井上：「『アップは困る』とは言ったが、削除は求めている」
- 30：戸田：「守口の議員の件については8/28に消防に確認している。久野総務課長が7/12に議員達に電話して、先走って『削除を求める事になると思う』と連絡しただけで、議員の意向は聞いていないのだ」
- 31：児玉次長：守口市議会規則の運営の申し合わせの「手引き書」の内容を紹介  
「消防議会事務局で相談した時には、『持ち込んではいけないものを持ち込んだ事は問題だ』と判断した」
- 32：土山：「その手引き書にどういう法的根拠があるのか？」  
武田：「それは門真の議会には関係ない」
- 33：吉水：「今までの慣例として守口議会に倣って消防議会をやってきた」  
児玉：「守口市議会の事務手引きです。」  
土山：「ただの手引き書でしょ」  
武田：「事務の手引き書と言われても・・・」  
吉水：「守口に準ずるといふ慣例がある」
- 34：戸田：「手続き的におかしい」  
「守口の議員が本当に削除させてくれと言ったのか？！誰が言ったのか？」  
・・・戸田が問いつめてやっど亀井が説明した。  
亀井：「和仁議員が『それはまずいからやめさせてくれ』と言った」  
戸田：「じゃあ他には誰が言ったのか？！」  
亀井：「消防から『守口の議員はまずいと言ってる』と聞いた」  
消防：「守口の議員に伝えた」  
亀井：「守口の議員の意向をねじ曲げてはいない」  
消防：「門真の議員については亀井副議長から、ということになった」
- 35：土山：「思いこみで暴走されたら困る」  
亀井：「暴走じゃない！」  
土山：「2人以上なら『みんな』か！？」  
戸田：問題点指摘「削除すべきと言ったのは守口では生嶋氏と和仁氏だけではないか！」  
（和仁氏がそう言ったかどうかも怪しい気もするが）  
土山：「それでは『みんな』じゃない」  
武田：「手続き的におかしい。守口の議員には電話して、我々には聞いていない。守口の議員にだけ情報が走ってる」  
井上：「ちょっと亀井さん、〇〇〇〇〇〇」（判別出来ず）  
・・・・・・11：30 トイレ休憩
- ※録音テープは片面45分ものだが、戸田ミスで表面終了に長い間気づかなかったため、10：45以降の分が欠落してしまった。気づいてテープを裏返ししたのは11時を過ぎてから。トイレ休憩直前あたりだったかもしれない。  
36：11：35 再開
- 吉水：「ざっくばらんな話が出来た。『みんな』という言葉を使った事がひとつのポイントだ」  
「『みんな』という言葉撤回したらみんな納得すると思う」  
亀井：「『みんな』という言葉を使ったが、私の思う『みんな』とみなさんが思う『みんな』が違っていた」
- 37：戸田：「そんな問題じゃない。7/13に『みんなが言ってる』とだけ言って押し切った事を謝罪すべきだ。またその後の説明要求に答えなかった事も」  
亀井：「謝罪はしない」
- 38：吉水：「戸田議員以外はみな了解した。問題を起こした戸田君の事を取り上げるべきだ」

## 門真市消防議員への「8/30説明会」の概要記録（5）

39：土山：『2人以上ならみんなや、それが常識だ』、こんな事でどうやって議会を進めていくのか？！  
謝罪し撤回すべき」

亀井：「撤回はするが謝罪はしない」

土山：「こんな人が副議長でいいのか？会派代表者会議で取り上げるべきだ」

亀井：「やったらええがな」

◆亀井議員は、この後のやりとりの中で「謝罪を求められるなら撤回しない」、という立場を明らかにしていった。（戸田注）

40：武田：「7/13の事前に議員控え室で（亀井議員から話が）あっただけ」

高橋：「（亀井議員から）電話で話があっただけ」

戸田：「要するに誰も考えを問われていない」

41：土山：「代表者会議で取り上げるべき」

亀井：「代表者会議は関係ない」

吉水：「代表者会議は行き過ぎ」 「問題を起こした戸田が引っ込めれば問題は解決する」

戸田：「言葉の撤回問題ではない。それは話のすり替えだ」 11：50

42：武田：「ここはあくまでも非公式な協議」

43：土山：「消防議会の録音テープの貸し出しはどうなるのか？」

消防：「これから検討しないと・・・」

44：武田：「正式な場＝消防議会の全員協議会などが必要ではないか」

亀井：「私は12月の消防議会前に全協をやったらいいと思う」

45：戸田：「見解が分かれている点を確認して次に進みたい」 見解が分かれているのは、

### 1) 7/13 戸田事務所での件については、

戸田は亀井議員が

- ・戸田が求めても事実経過を説明しなかった事、
- ・「みんなが言っている」というウソをついた事、
- ・亀井議員が執拗に戸田の説明妨害行動をとった事が問題であり、謝罪すべきと思っている。

一方亀井議員は

- ・これは「戸田の亀井議員に対する暴言問題、暴力を振るった問題」であり、戸田は謝罪すべきだ、
- ・事実経過を説明しなかったのは何ら問題ない。

と、見解が分かれている。

### 2) 「みんな」という言葉を使った件については、

戸田や土山議員は

- ・それはウソの説明をした事になり、撤回し謝罪すべき

と考えるが、

亀井議員と吉水議員は

- ・ウソの説明ではない。謝罪は不要。

と、見解が分かれている。

### 3) 説明要求書に答えなかった事については、

戸田は

- ・副議長としてあるまじき事、謝罪すべき

と考えるが、

亀井議員は

- ・回答しなくても何ら問題はない。

と、見解が分かれている。

## 門真市消防議員への「8/30説明会」の概要記録（6）

- 46：武田：「質問要求書のことは戸田議員と亀井議員の間の問題だと思う」  
戸田：「そうじゃない。副議長としての職責の問題だ」
- 47：吉水：「私の都合を何度か聞かれたが、なかなか都合がつかなくて本日やっと話し合いになった」  
戸田：「つまり、亀井氏は吉水さんには何度も日程都合を聞いたが、戸田には全く聞かなかったという事だ。本日の日程が決まったのは、8/23に戸田と土山氏が日程ノート持参で亀井氏の控え室に行って日程都合を示したからだ。  
それ以前は、戸田が『8/22夜にならないと帰阪しない』と全議員へのFAX通知に記載して亀井氏もそれを読んでいるのにあえて『8/22にやりたい』と土山氏に連絡したりしている。  
8/22は土山氏も都合がつかなかったが、こういうやり方を副議長がしているのは問題だ」
- 48：武田：「今日ここでは何も決められない」
- 49：土山：「謝罪も撤回もしない、こんな副議長でいいのか？」  
「代表者会議がダメなら消防議会で（信任を）問えばいいのか？！」  
吉水：「消防議会での不信任動議となるのか。しかし門真で副議長に選出しているのに……。門真の代表者会議に諮るにはいいかもしれない」
- 50：亀井：「守口門真消防議会の事を門真の代表者会議で決めたら問題になる」  
「そんな事をしたら恥じかくで！」  
「消防議会の全員協議会でやるべきだ」
- 51：戸田：「説明要求書には答えない、という事だな」  
亀井：あれこれ  
吉水：あれこれ
- 52：土山：「消防議会の全協でやれ、という事になる」  
井上：「全協で何をやるの？」  
亀井：「門真の代表者会議に出すのはおかしい」
- 53：戸田：これまでの論議の整理
- 54：土山：「(亀井氏の理屈では) 土山と戸田の2人が録音のHPアップOKなら『みんな』なんやからOKやな！」
- 55：武田：「今日の合意は『消防議会の全協の開催を求める』という事」
- 56：戸田：「何を全協にかけるとか？ 2つの考えがある。  
亀井議員・吉水議員は  
『戸田が消防議会の音声をHPアップした問題』としてかけようと考え、  
戸田は  
『正副議長が戸田に説明責任を果たさず、ウソの説明をし、説明要求書にも答えなかった問題』として全協にかけようと考えている。
- 57：武田：あれこれ  
高橋：あれこれ 12：15
- 58：亀井：「少なくとも12月消防議会の前に必ず全協をやります！」  
12：18 終了。